



大野小学校
学校だより
No.6
文責 前田

運動会 9月27日 たくさんのご協力をありがとうございました。

絶好の天気にも恵まれ、本年度の運動会を開催することができました。

新型コロナウイルス感染症対策をどのように行うべきか、本校の実態に合わせて、検討を重ねてきました。他の学校の取組を参考にしながら、取り入れられる部分を加えました。



午前中開催、種目数削減、児童テント増、地区テントなし、入場者数制限（来賓の方への案内を控える）等の措置について、保護者の皆様のご理解とご協力や、地域の皆様のご支援をいただきました。お陰様で実施できたと感謝しています。

子供たちも精一杯頑張りました。雨続きで運動場での練習は数日しかありませんでしたが、本番での集中力やひたむきな姿は、見る人にとり伝わってきました。徒競走、表現、リレー

等だけでなく、開閉会式や集合等の動き、応援等の姿も素晴らしいものがありました。6年生の子は、次のように運動会を振り返っています。

運動会を終えて

ぼくは、運動会を終えて二つのことを学びました。

一つ目は、感謝の心です。新型コロナウイルスの影響で、できないかもしれないなかつた運動会がありました。先生方や保護者の皆さんのおかげだと思います。運動会前には、先生方や保護者の方が草取りやグラウンドの整備までしてくれました。運動会本番では、僕たちを一生懸命応援してくれました。競技が終わると、頑張ったねとほめてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

二つ目は、一人一人の協力の大切さです。(略)

今年の運動会は、とても楽しかったです。やっぱり運動会があつてよかったです。これからは、ふだんできることが当たり前と思わず、だれかに支えられているという感謝の気持ちをもつてすごしていきたいです。

6年生の作文を全部読ませてもらいましたが、7割弱の子が、「感謝」という言葉を使っていました。また、全ての作文から充実感や満足感を感じることができました。これも、学校、保護者、地域と連携して取り組めた成果だと感謝しております。ありがとうございました。

集団宿泊教室で学びました。

5年生は、後期が始まってすぐの14日から一泊二日の集団宿泊教室を芦北青少年の家にて行いました。水俣市での見学では、水俣病を乗り越えてたくましく生きる水俣の人々の姿にふれ、青少年の家では、集団生活を送ることで自立を促すとともに共感、協力することの大切さを学びました。後片付けも進んでできた5年生、最上級生への道を一歩進めています。



縦割り班掃除に取り組んでいます。

十月は縦割り掃除月間です。学級での掃除の時は、ついついおしゃべりが多くなる傾向がありますが、縦割り班での掃除になると、黙々と集中して取り組む姿がぐっと増えました。体が止まっている子も見かけますが、多くはせつせつと体が動いています。掃除場所だけでなく心もきつと磨かれて、ピカピカになっていきます。まさに、太陽っ子の姿です。前回、挨拶には人の心をやわらかくする不思議な力があると記しましたが、掃除にも不思議な力がありそうです。

